令和3年（2021年）11月15日
第157号
編集・発行人 西澤 均
年6回発行（奇数月の15日）
定価：1部105円・年間630円（税・送料共）
購読料は日歯連盟会費に含む

日歯連盟広報

発行：日本歯科医師連盟 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-20
TEL：03-3262-8644 FAX：03-3263-0345 E-mail：jdpf@jdpf.jp
日歯連盟ホームページ https://www.jdpf.jp/

Pick Up!

都道府県から歯科医療を語る［第11回・新潟県］

山下 智 新潟県歯科医師連盟会長×鷲尾英一郎 衆議院議員×松﨑正樹 新潟県歯科医師会会長×片山 修 新潟県歯科医師連盟顧問（2、3面に記事掲載）

都道府県歯科医師連盟会長会議

令和3年9月10日（金）午後2時よりホテルメトロポリタンエドモント（東京・千代田区）において都道府県歯科医師連盟会長会議が開催された。新執行部発足後、初めてとなる本会議は、全国から13名の新たな会長を含む47名の会長が参加のもと、次期衆議院議員総選挙、次期参議院議員通常選挙等について協議された。なお新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からWeb併用会議で行われた。

村上副会長の開会の挨拶に続き、座長には太田副会長が選出された。

【会長挨拶】

高橋会長は冒頭の挨拶で「未曽有のコロナ感染拡大で各地区の会員の先生方には疲弊されているなかでも医療を守っていただいており、またワクチンの接種等にもご協力いただいている。過去に経験のない厳しい状況下で歯科医療を行っている。過去最高であった43兆6000億円という総医療費に対し、昨年度の概算医療費は1兆4000億円のマイナスとなった。これには受診抑制などのさまざまな要素があり、診療報酬請求額も下がっている。歯科は患者がもどったという一部報道があるが、経営的に非常に厳しいのは間違いない」と述べた。さらに「公益社団法人日本歯科医師会のデータによると、手袋、マスク、消毒薬等の衛生用品関係の経費がコロナ前に比べ35%プラスになっている。それに対して感染予防対策費として初・再診に5点加算があった。存続を要望してきたが結果的に9月で打ち切られるという情報が入った。未だに歯科医療機関で、医療関係者から患者さんへのクラスターの発生は起きていない。感染予防対策をより確実にするために、やらなければならない点が多々ある」と引き続き支援を求めていく考えを示した。

高橋会長

菅内閣総理大臣の退任の発表があったことを受け、今後行われる自民党総裁選挙については、それぞれの事情に基づいてご協力をいただきたいとし、「その後に行われる衆議院選挙、そして来年7月には参議院選挙がある。それに向けて我々はしっかりと地盤を作っていかなければならない。先生方の地元をしっかりと活性化して、歯科の重要性を訴えていただきながら政治活動を行っていただきたい」と述べた。

また、歯科に関わる議連や勉強会を紹介し、その中で6月に設立された国民皆歯科健診実現議連について「骨太の方針に継続的に掲載されている健診事業の充実が謳われているが、毎年書き換えになるため、それを確かなものにしようと古屋圭司議員を会長に山田宏議員をはじめ156名の議員を持って発会した」と報告があった。

最後に厳しい世情のなか、歯科界の朗報として、前回の参議院選挙で次点となった比嘉奈津美先生の繰り上げ当選がほぼ確定となったこと、厚労省に口腔ケアを中心とした審議官の誕生が内定したこと2点を紹介した。

【国会報告】

◆山田 宏 参議院議員

山田議員

来年度予算の概算要求が厚労省から提出されたことに触れ、「歯科関係の中では歯科医療提供体制構築推進事業の要求額が大幅に伸びている。これは各都道府県において自主的に歯科医療の提供体制を調査して医療計画を立てることであり、総合的には大きなものになると考えている。予算が決まったら先生方には各都道府県の知事等に調査・計画立案を実施するよう働きかけていただきたい」と述べた。また9月16日に開催される「国民皆歯科健診実現議連総会」に関する説明があった。

◆島村 大 参議院議員

島村議員

菅内閣総理大臣の辞任発表を受けて、在任中の支援に対する感謝の言葉とともに、今後も参議院の菅グループ11名は一致団結して支えていくと報告。また「口腔ケア」担当の審議官が内定したことについて、「我々が一つの目標としていた審議官が誕生したが、最終的には我々と同じライセンスを持っている歯科医師になっていただきたく、そのためにも審議官の必要性を訴えていただきたい」と述べた。さらに8月に行われた横浜市長選挙の報告と、これからの活動の課題について説明があった。

【前顧問挨拶】

比嘉前顧問

比嘉奈津美前顧問より、自身の活動報告の他、繰り上げ当選がほぼ確定したことを受け、今後の抱負が語られた。

報告

(1)一般会務報告

浦田理事長より一般会務報告、会員数報告が行われた。

(2)会計現況報告

神田副理事長より会計現況報告が行われた。

(3)その他

倉田英生副会長（岩手県）より、6月に行われた宮古市市長選挙において、現職で歯科医師の市長が4期目の当選を果たした旨の報告があった。

倉田副会長（岩手県・Web）

◇報告に対する質問等

阿部義和会長（岐阜県）より、「連盟活動を行うに際し、全国一律にするのではなく各都道府県の状況を鑑みて、活動の判断基準にしていただきたい。それからワクチン接種について、違法性の阻却ということで歯科医師が接種できるようになってはいるが、今後国家として歯科医師をどのように扱っていくのか、また歯科医師の社会的位置づけを下げることのないようご検討いただきたい。またワクチン接種に係る防衛省の要請に対する歯科医師の派遣について、日本歯科医師会としっかりと連携した上で対応していただきたい」と三点の要望があった。これに対し浦田理事長より、「防衛省ワクチン接種については、防衛省から依頼があり、日本歯科医師会、東京都歯科医師会と調整したが、期間が短いこと、対応が難しいとのことでしたので連盟側が依頼を受けて進めている」との説明があった。

阿部会長（岐阜県・Web）

大松 高 会長（静岡県）より、6月に行われた静岡県知事選挙の結果報告と、10月に行われる参議院議員補欠選挙についての報告があった。

大松会長（静岡県・Web）

山下 智 会長（新潟県）より、会員数報告の中で特に4月の入会者数が日本歯科医師会と大きな差が出ている原因についてと、77・6%という組織率の中、組織の強化ということで会員数減少を食い止めるプロジェクト等を過去より行っているが、新執行部では今後どのように行うのかの質問に対し、浦田理事長は、「入会者数や組織率については我々も注視している。会員対策委員会を立ち上げ入会促進に関して今後どう対応していくか検討する予定でいるが、コロナ禍で実際の開催が難しく現在準備を進めているところである」との説明があった。

山下会長（新潟県・Web）

協議

(1)時局対策

浦田理事長より、新型コロナウイルス感染対策として日本歯科医師連盟はリモートワークに向けて準備を進めており、在宅勤務、時差出勤等により職員が不在の場合ついての理解と協力を求めた。また、診療報酬上の「歯科外来等感染症対策実施加算」について、コロナ収束時期までの存続についての要望書を提出した旨の報告、さらにワクチン接種に係る防衛省の要請に対する歯科医師の派遣についての説明がなされ、これについて協議が行われた。

(2)次期（第49回）衆議院議員総選挙への準備について

浦田理事長より、対応案をもとに各都道府県の支援についての説明がなされ、これについて協議が行われた。

(3)次期（第26回）参議院議員通常選挙への準備について

浦田理事長より、日歯連盟主催デンタルミーティング開催および今後の会合計画について提案があり協議された。

最後に、村岡副会長の閉会の挨拶で会議は終了した。

かけはし

新型コロナウィルスが話題になり始めて1年半あまり、旅行や外食はめっきり少なくなってきた。時には気分の晴れることはないのかと思っていたところ、このたび比嘉奈津美前顧問が、繰り上げで議席を確保することになった。足かけ2年を経ての吉報である。当時極めて短い選挙期間ではあったが、会員の先生方のご尽力で次点まで押し上げることができた賜であり、あらためて連盟活動の重要性を実感した▼比嘉氏の名前が挙がったとき、衆議院議員を2期務め環境大臣政務官を歴任した即戦力として紹介されていた。それだけに参議院に議席を得たということで、我々を取り巻く環境に直ぐに目に見える効果があるかということは皆さんの期待するところであろう▼しかし国政の場で常に2名の組織代表が空白を作ることなく、連携し継続して議員活動をし、歯科界を取り巻く現況を訴え、地道に多くの理解者を得ることが歯科医療環境向上への一番の近道であると考えると、我々も浮き立つ気分を押さえつつ、比嘉氏の今後の活動を何より長い目で、そして時には厳しい目で見守って行くことが肝要であると思う。

広報担当理事 木幡 孝

新潟県

都道府県から歯科医療を語る

第11回

11回目の「都道府県から歯科医療を語る」は、新潟県歯科医師連盟の山下 智 会長と鷲尾英一郎衆議院議員に、松﨑正樹 新潟県歯科医師会会長と片山 修 新潟県歯科医師連盟顧問を交えてさまざまなお話を伺いました。
（聞き手：大村真由 日本歯科医師連盟HP委員）

※撮影のためマスクを外しております

山下 智　新潟県歯科医師連盟会長
鷲尾 英一郎　衆議院議員（比例北陸信越ブロック）
片山 修　新潟県歯科医師連盟顧問
松﨑 正樹　新潟県歯科医師会会長

新潟県歯科医師連盟の構成・活動について

大村HP委員（以下、大村）　皆様、本日はよろしくお願いいたします。

山下会長（以下、山下）　新潟県歯科医師連盟の組織は、社団である新潟県歯科医師会と役員をほぼ兼任しております。この7月に社団の松﨑会長の推薦により、私が会長職に就任いたしました。役員は私を含めて17名（うち監事2名）、県内においては16の連盟支部から構成されています。また会長や県議、国会議員などに連盟顧問として就任いただき、適宜適切なアドバイスをいただいています。

活動の基軸は新年会で、日本歯科医師連盟の高橋会長や日本歯科医師連盟顧問である山田宏議員を迎えてデンタルミーティングを開催しています。県選出国会議員や顧問県議会議員などを迎えて活発な意見交換を行っております。

全国でも地域保健分野の先進県であり、新潟県議会自民党歯科保健議連との連携を強化して毎年同分野の予算要望をしています。また、歯科の問題点を洗い出すために、新潟県歯科医師連盟顧問と定期的な協議会を行っています。

また議員提案により全国に先駆けて「新潟県歯科保健推進条例」が、平成20年7月に公布・施行され、その後平成23年8月には「歯科口腔保健の推進に関する法律」が議員立法により成立、平成24年10月には同法律が先の推進条例との整合性を図り、更なる県民の歯・口腔の健康の向上を推進するため同条例の改正が公布・施行されました。以後、県歯科保健推進条例対策委員会との連携を継続しています。

その改正条例の中でも、歯・口腔の健康づくりの習慣化を図り、将来の世代に伝えていくために、毎年11月の1か月間を「にいがた健口文化推進月間」として設定しています。

大村　デンタルミーティングの状況はいかがですか？

山下　県内の16の連盟支部との連携を強化して、デンタルミーティングを随時行っています。

大村　今後の重点事業について教えてください。

山下　新潟県も連盟会員の組織率が減っていますので、組織率向上のための検討、対策をしていきたいと思っています。また、歯科に対しての理解を深めるために、首長や県議、市議から重点候補を絞り、デンタルミーティングを推進し、また若手会員や女性会員に選挙協力していただくための体制を整えたいと思います。

新潟県歯科医師連盟と鷲尾議員の出会い・繋がりについて

大村　鷲尾議員との出会いについて教えてください。

片山顧問（以下、片山）　連盟会長に就任した平成21年の衆議院選挙で新潟県は自民党の議席を失いました。民主党の西村まさみ議員から鷲尾議員を紹介していただきましたが、自民党県連の手前多少のためらいがありました。たまたま「財界新潟11月号」に掲載された鷲尾議員のインタビュー記事で、「党利・党略より、国家・国民を思う」というコメントを読み、その年の暮れにお会いしようと思いました。若さと情熱に引き込まれ、色々とお話をさせていただくなか、公益法人改革に伴う、保険業法改正による共済制度の取り扱いに苦慮していることをお伝えし、ご指導いただくことになりました。年が明けてすぐの1月5日にお時間を取っていただき、今までの経緯をお話ししたところ、鷲尾議員は金融庁と連絡を取ってくださり、1月18日には金融庁から、民間と県歯共済の併用を認めるとFAXで通知をいただいたという、対応の早さに驚いた次第です。

鷲尾議員（以下、鷲尾）　財務金融委員に在任していたこともあり早い対応ができたと思います。

松﨑会長（以下、松﨑）　新日本監査法人や新潟税務署にアプローチするも、明確な回答が無く苦慮していたところ、鷲尾議員の配慮、素早い対応のおかげで、金融庁からやっと通知をいただき、非常に助かりました。

片山　また、当時の日本歯科医師会の堀常務（現日本歯科医師会会長）と東京での会務に出席した帰りの新幹線の中で、鷲尾議員から電話で、堀常務を財務次官に紹介しますと言っていただきとても驚きました。その後財務次官と直接会う運びとなったのです。

私達の事を常に頭の中に入れておいてくださいますし、人脈の広さや行動力の早さがあり、応援したいという思いが高まっていきました。

松﨑　聞く耳を持っていてもなかなか行動には移してくれない政治家の方が多いなか、鷲尾議員は迅速にすぐ対応してくださりました。

片山　社会の高齢化が進むなか、平成27年、新潟県歯科医師会は職場での歯科健診事業を進めていきたいと考えていました。当時、民主党であった鷲尾議員が、民主党支持の連合との会合を段取りしてくださり、結果的に協会健保と新潟県歯科医師会は連携協定を締結できました。その礎を作ってくださったのが鷲尾議員です。

鷲尾　そのように言っていただきありがたいです。

松﨑　連合新潟の牧野会長は、鷲尾議員が民主党在籍時に議員の事をとても慕っておられたようです。自民党に移党したにも関わらず、牧野会長は「県内の与野党問わず、鷲尾議員は特筆すべき逸材である」と新潟日報で評価していました。連合にしてみれば鷲尾議員が民主党を離れたという事は痛手であった筈ですが、そのように語られたという事は凄いと思いました。

片山　自民党の方からなぜ民主党の鷲尾議員を積極的に支援するのかと聞かれましたが「歯科界発展のための実績があるから支援させていただいてます」とお答えした事もありました。

鷲尾　新年会等ですべてが自民党議員のなか、私だけお呼びいただいたことが懐かしくありがたかったです。

鷲尾議員への質問

大村　親族には政治関係の方がおられなかったそうですが、政界に入られた契機は何でしょうか。

鷲尾　3才の時、病気で右の肺3分の2を取ったのです。その後親から野口英世の伝記を沢山見せられ、医者になるように言われましたがそれは嫌でした。小学校時代身体が弱かった私が強く思ったのは、今の時代に生まれ育ち、生き長らえてこれたのだから、次の時代ももっと良くしたいという思いです。スポーツが好きな私でしたが、スポーツ選手には勿論なれないと思ってました。そんな時興味を持ったのは聖徳太子でした。政治の世界に入り、皆さんのためにより良い社会を作りたいという思いから政治に対する憧れが強くなっていきました。

大村　日本歯科医師連盟や新潟県歯科医師連盟との関係性について教えてください。

鷲尾　民主党時代、新潟県の選挙応援に携わった時がきっかけです。新潟県歯科医師会の方々とも会う機会を持たせていただくようになったのですが、本当に温かく接していただきました。歯科のことを知れば知るほど、口腔の健康は本当に大事だと感じました。

日本歯科医師連盟の高橋会長とはデンタルミーティングで初めてお会いし、周りは全て自民党議員でしたが、野党議員であった私を近くに呼んでお話していただいたり、その時から仲良くしていただいてとても嬉しく思います。

片山　鷲尾議員の会合に行く度に、参加している方とても良い関係だと感じその様子を拝見してますます惹かれていきました。

山下　鷲尾議員には歯科医療政策の他に、公認会計士という専門知識を生かして、高橋会長の英断により日本歯科医師連盟内部の組織改革などさまざまな助言をいただいたことも記憶に新しいです。

大村　外務副大臣の活動状況等や今後鷲尾議員が目指すものは何でしょうか？

鷲尾　日本の長寿の秘訣は歯科医療も重要であると思いますので、医療の国際展開をしている団体と高橋会長をお引き合わせしたこともありました。歯科医療の大切さを伝えたいという思いが強くあります。

大村　政治家のあるべき姿についてお聞かせください。

鷲尾　今の時代、弁舌が爽やかで何となくやっている雰囲気がある政治家に注目している方が多いと思います。でも、政治はそれで良いのでしょうか？　結果を残す政治家を国民の皆さんには評価していただきたいです。私も将来は党内でもっと認められる存在になり、中枢で働きを積み重ねて信用をいただけるようになりたいです。

菅前総理はワクチンの確保、接種、そして感染者を抑えることができた実績があります。死者はG7のなかで一番少なく、将来的なワクチンも手当てされており、ワクチンの接種スピードは世界一、歯科医師の皆さんにワクチン接種していただいたり、自衛隊員の方にも動いて貰うなど、政治的な力に加えて実績も作っています。そうであるにも関わらず、滑舌が悪い、たどたどしいなどと非難されていましたが、私はそれは良くないと思っています。私の師匠である菅前総理のリーダーシップは凄いといつか国民の皆様にまた分かっていただきたいと思っています。

オリンピック開催の改善点を一つ言わせていただけば、国民の生命を守ることが大前提の開催でしたので、最初から、IOC関係なく無観客で行うと言って欲しかったです。あと、オリンピック開催反対の根拠が感染爆発でしたが、爆発はしませんでした。ですので政府を評価していただいても良いのではないかと思います。

松﨑　大臣になってからこそ国を動かせると思いますので鷲尾議員には是非頑張っていただきたいと思います。

〈3面に続く〉

〈2面からの続き〉

片山　まだ44歳という年齢ですから、同じ年代の他の方と比べれば当選回数を重ねていらっしゃいますし、これからもさらに御活躍されることを期待しています。

松﨑　野党と与党の両方のさまざまな経験をされていて、国のことをいろいろと分かっておられるのは強みだと思います。

大村　新型コロナウイルス感染症対策についてお考えをお聞かせください。

鷲尾　ワクチン接種が当初進まなかったこと、病床が足りない状況になったことなど、同じことを繰り返さないことがとても重要だと思います。国民の皆さんは1年以上長期に渡って日常生活の制限を強いられているのです。今までの教訓を生かして政府は改善しなければいけないと思います。

新潟県の歯科口腔保健の状況や歯科医師会の活動について

松﨑　文部科学省の令和元年学校保健統計調査で、本県の12歳児（中学1年）のむし歯数は全国で最も少なく平均0・3本で20年連続日本一を達成しました。

大村　その要因は何でしょうか？

松﨑　県行政・県歯科医師会・大学の緊密な連携によるむし歯予防対策の推進と地域歯科保健活動の結果、全国で初めて昭和45年（1970）弥彦小学校でフッ化物洗口を開始し全県下に波及させました。以来、県が市町村にフッ化物洗口の助成を行っており、現在全小学校の90％でフッ化物洗口が実施されています。

また半世紀以上続く「新潟県よい歯の学校・園運動」という伝統あるコンクールを行い、この表彰の審査には学校歯科健診結果の他、各学校・園で取り組まれている保健指導や歯科保健に関わる取り組み状況が審査基準に大きく関わり、その評価を行ってきた結果でもあります。

昭和56年から、子供たちのむし歯を半減することなどを目的とした全国初の県歯科保健計画である「むし歯半減10ヵ年運動」を開始しました。行政や歯科医師会、大学、教育委員会が一丸となって全国に先駆けて学校におけるフッ化物洗口を行うなど、子供のむし歯予防対策を積極的に推進してきました。

大村　令和元年（2019）の新潟県の花角知事の『健康立県』の実現に向けて」という取り組みと歯科の関連について教えてください。

松﨑　花角知事が掲げる、すべての県民が生き生きと暮らせるための「健康立県」の実現として、「ヘルスプロモーションプロジェクト（県民運動）」で、「生きがい・幸福度」を軸に、5つのテーマのうちデンタルケアを挙げていただきました。

これは「自分の歯のことをわかっているかかりつけの歯科医を持つこと」を推奨し、スローガンを「あなたのための、歯のプロを」とし、そして「歯のプロからよい歯のケア方法の指導を受ける」「気になることがなくても定期的に歯科健診に行くこと」が盛り込まれています。

また、今年度より「新潟県歯科保健医療計画第5次」がスタートしておりますが、この中で「かかりつけ歯科医を持ち定期的指導・健診の普及・促進」が新たに謳われています。これらを踏まえて、知事とともに今後さらに歯科保健からの健康長寿を目指した取り組みを続けていくことを県民に宣言して、県民の定期的歯科受診を推進していきたいと思います。

自由民主党 衆議院議員
鷲尾　英一郎

昭和52年1月3日生（44歳）
新潟県新潟市出身

【略歴】
平成７年３月　新潟県立新潟高校卒業
平成13年９月　東京大学経済学部卒業
平成13年10月　新日本監査法人入社
平成17年９月　第44回衆議院議員選挙にて初当選
平成21年８月　第45回衆議院議員選挙にて2期目当選
平成24年10月　農林水産大臣政務官（野田第3次改造内閣）
平成24年12月　第46回衆議院議員選挙にて3期目当選
平成26年12月　第47回衆議院議員選挙にて4期目当選
平成29年10月　第48回衆議院議員選挙にて5期目当選
令和元年９月　衆議院環境委員長
令和２年９月　外務副大臣（菅義偉内閣）
令和３年10月　第49回衆議院議員選挙にて6期目当選

新潟県歯科医師連盟
会長　山下　智

昭和29年2月5日生（67歳）

【略歴】
平成15年　新潟県歯科医師連盟理事
平成17年　日本歯科医師連盟評議員
平成21年　新潟県歯科医師連盟理事長
平成27年　日本歯科医師連盟理事
平成29年　日本歯科医師連盟副理事長
令和３年　新潟県歯科医師連盟会長

新潟県歯科医師会
会長　松﨑　正樹

昭和29年3月6日生（67歳）

【略歴】
平成12年　新潟県歯科医師会理事
平成15年　新潟県歯科医師会常務理事
平成21年　新潟県歯科医師会専務理事
平成29年　新潟県歯科医師会会長

新潟県歯科医師連盟
顧問　片山　修

昭和24年1月27日生（72歳）

【略歴】
平成15年　新潟県歯科医師会常務理事
　　新潟県歯科医師連盟常任理事
平成18年　新潟県歯科医師連盟副会長
平成21年　新潟県歯科医師会副会長
　　新潟県歯科医師連盟会長
　　日本歯科医師連盟理事
平成23年　日本歯科医師連盟評議員
令和３年　新潟県歯科医師連盟顧問

「国民皆歯科健診」で健やかな人生100年時代を実現する議員連盟（国民皆歯科健診実現議連）の総会が開催

「国民皆歯科健診」で健やかな人生100年時代を実現する議員連盟（国民皆歯科健診実現議連）の総会が、2021年9月16日（木）9時30分より衆議院第2議員会館にて開催された。

国民皆歯科健診実現議連には156名もの国会議員が入会されており（2021年9月16日現在）、当日は国会閉会中にも関わらず多くの議員が出席された。

山田 宏 事務局長の司会のもと、古屋圭司会長から皆歯科健診の必要性に触れながらの開会挨拶があり、伊吹文明元衆議院議長および尾辻秀久元厚労大臣から最高顧問挨拶がなされた。日歯連盟からも多くの役員が参加し、高橋英登会長より、「国民皆歯科健診実現議連に期待すること」をテーマに講演があった。

高橋会長は講演で、歯科健診は医科医療費を抑制することや、歯科医療機関への通院割合が高いほど健康寿命・平均寿命が長いこと。また、残存歯が多いほど認知症になるリスクは低いことや、コロナ感染防止と口腔ケアの必要性について資料をもとに解説し、出席議員の皆さんは興味深く聞いておられた。

最後に「骨太の方針に歯科関係の文言が5年連続で、年々文字数も増えて掲載され、厚労省の令和4年度概算要求は前年度に対し増額の評価をいただいた。歯の健康は全身の健康につながるものでもあるため、今後も引き続きご協力いただきたい」と締め括った。

高橋 日歯連盟会長

山田 議連事務局長

尾辻 議連最高顧問

伊吹 議連最高顧問

古屋 議連会長

医歯薬出版●出版案内　医歯薬出版株式会社　〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10　TEL.03-5395-7630　FAX.03-5395-7633　https://www.ishiyaku.co.jp/

歯科医師のための
災害時マニュアル

江澤 庸博・風間 裕貴
鈴木 健太郎　著

災害時は公助を待つことなく，自助，共助で対応しなければなりません！だからこそ，本書はそこまで知る必要があるのか？と思われる内容までも盛り込んで解説しています．
災害時に役立つ知識，機材の準備，運用方法，さまざまな緊急対処法がわかる実践ガイドです‼

■A5判／188頁／カラー　■定価 5,500円（本体 5,000円+税10%）

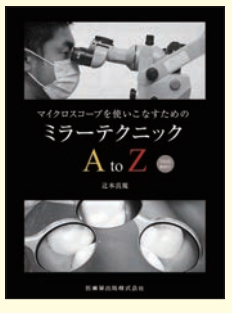
口腔習癖 実践編
アイコンで見える化する口腔機能の問題点

河井 聡　編著

健全な歯列は健全な機能に宿る「口腔習癖」待望の実践編！
アイコンを活用して見えない口腔習癖を“見える化”し，複雑に絡み合った口腔機能の問題を一つひとつ解決するための手技を，豊富な症例写真とともにご紹介します．

■A4判変／220頁／カラー　■定価 9,900円（本体 9,000円+税10%）

マイクロスコープを使いこなすための
ミラーテクニックAtoZ



Web動画付

辻本 真規　著

「ポジショニング」と「ヘッドローテーション」を理解し，マイクロを活用するために必須のミラーテクニックを，部位ごとの見るべきポイントや見逃しがちなポイントを動画と写真でわかりやすく解説．

■A4判変／108頁／カラー　■定価 7,920円（本体 7,200円+税10%）

歯科医でない「歯科議員」が挑む！⑪

参議院議員　山田　宏

「歯科」が、初めて自民党の政権公約に！

大きな一歩

今般、岸田政権のもとでの初の自民党「政権公約」に、初めて「生涯を通じた歯科健診の充実（国民皆歯科健診）〈中略〉を進めます」との文言が記載されました。

自民党公約は「政権公約」として重点政策を掲げ、その他の政策課題は「政策BANK（以前はJファイル）」にまとめられてきましたが、「政権公約」に「歯科」の文言が入ったのは初めてのことです。政権公約の中の「『全世代の安心感』を創出する」との項目にある4行の医療公約に、歯科関連では唯一「国民皆歯科健診」が記載されたのです。（資料①）

ここに至るには、予算委員会での質問や歯科口腔医療勉強会を含むさまざまな要望活動などの積み重ねにより、連続5年にわたり「骨太の方針」に「生涯を通じた歯科健診の充実」という文言が記されてきたことが大きな大義になったと思います。

古屋議員（右）とともに高市政調会長（中央）に要請書を手渡す山田議員（左）

高市新政調会長に要請

9月30日に行われた自民党総裁選挙では、私の所属する清和政策研究会（細田派）は高市早苗氏か岸田文雄氏を支援することになり、私は松下政経塾の3年後輩の高市氏を応援、決選投票では岸田氏に投票し、岸田総裁が誕生しました。

そして高市氏が党政調会長に就任された直後の10月4日、高市早苗総裁選選対本部長を務められた古屋圭司代議士と私で政調会長室を訪ね、二人が会長と事務局長を務める「国民皆歯科健診議連」として、来るべき総選挙の自民党公約に「国民皆歯科健診」を盛り込むよう要請。実は高市政調会長も当議連の役員であり、「よしやろう」ということになったのです。

2年の準備期間を経て、今年6月16日に158人の自民党議員の参加で「国民皆歯科健診実現議連」が発足し、そのわずか4か月後に私たちの目標が党の正式の公約となったのは、総裁選挙において私たちが支えた高市氏が、新政権の中枢である党政調会長に就いたことが大きなポイントとなりました。理屈では動かない政治のダイナミズムの一端です。

どう公約を実現するか

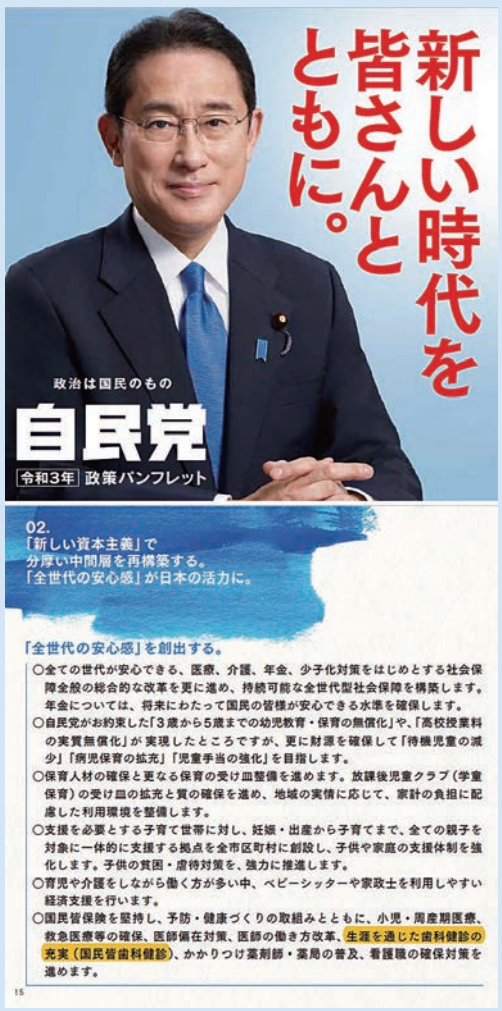
総選挙の結果自民党が引き続き政権を担うことになり、自民党は党としての国民への約束を果たす義務が生じます。「国民皆歯科健診」の実現は、議連という議員の任意団体の目標から政権政党の公の目標となりました。

私としては今後の取り組みの道筋を次のように考えています。

まず、党の正式の検討機関として「国民皆歯科健診実現を検討する特命委員会（仮称）」を政調会長のもとに設置。特命委員会とは、政調会長が特に必要と認めるテーマについて、政調会長の判断で設置できる党の機関です。委員長には政調会長代行（ナンバー2）の古屋圭司先生に就いていただければ強力な委員会となります。

またそこでは、各官庁の協力の上「国民皆歯科健診」実現に向けての課題整理と実現への「工程表」を作り、さらには諸政策作りと予算の確保、さらに制度のための法案策定などのさまざまな検討が行われ、必要に応じて党政務調査会の審議を経て総務会での決定の上、政府への党の正式要望や議員立法になります。しかし広く国民の理解を得ていくべき壮大な政策であり、一朝一夕に実現できるものではありませんが、この度の公約記載はその「大きな一歩」となったことは間違いありません。

高校までの義務化の歯科健診を全国民が年一回は歯科健診を受診するような制度に整え、かからなくてもいい病気にかからず病気になっても重篤化しないことで国民の健康寿命を伸ばし、ひいては国民皆保険制度を維持していくことは、来年から団塊の世代の方々が後期高齢者の仲間入りされていく、今この時期に進めるべき最も重要な国家課題なのです。



資料①　「国民皆歯科健診」が記載された政権公約

歯科医師国会議員2名が政務官（総務・厚労）に就任

令和3年11月10日、第二次岸田内閣発足により、先の衆議院総選挙で当選された渡邊孝一衆議院議員（北海道比例区選出）が、総務大臣政務官に就任することになった。

また、島村　大　参議院議員（神奈川県選出）は、厚生労働大臣政務官兼内閣府大臣政務官に就任することになった。

当連盟としては、歯科医師の議員と連携を深め、さらなる歯科医療政策の実現を目指していく。

※主要選挙は行われないため「ザ・選挙情報」はお休みします。また「意外と知らない!? シリーズ」は次号の掲載を予定しております。

日本歯科医師連盟広報委員会およびHP委員会　委員名簿

〈広報委員〉

役　職	氏　名	都道府県
委員長	近藤　晴彦	静岡県
副委員長	米山ゆき子	東京都
委　員	野上　俊雄	茨城県
〃	岡本美世子	東京都
〃	武田　直丈	東京都
〃	熊谷　　渉	三重県
〃	中村　文昭	岡山県

〈HP委員〉

役　職	氏　名	都道府県
委員長	松舘　邦彦	岩手県
副委員長	田代　高志	栃木県
委　員	佐藤紀世彦	岩手県
〃	工藤　祐光	福島県
〃	穂苅　雅人	新潟県
〃	大村　真由	新潟県

※委員は都道府県順にて記載

前列左より米山広報副委員長、近藤広報委員長、松舘HP委員長、田代HP副委員長
後列左より野上広報委員、岡本広報委員、武田広報委員、熊谷広報委員、中村広報委員、大村HP委員、佐藤HP委員、工藤HP委員、穂苅HP委員

NEO Zalocain Paste
Dental Surface Anesthetic
劇 ネオザロカイン®パスタ
歯科用表面麻酔剤　薬価基準収載
劇薬
処方箋医薬品
注意－医師等の処方箋により使用すること。
●有効成分（100g中）
アミノ安息香酸エチル　25 g
パラブチルアミノ安息香酸ジエチルアミノエチル塩酸塩（テーカイン）　5 g
15g チューブ入　標準価格 2,200円

細い先端ノズル
ラミネートチューブ
ラズベリーフレーバー
NEO DENTAL CHEMICAL PRODUCTS CO.,LTD.
効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。
添付文書
製造販売元/資料請求先
ネオ製薬工業株式会社
〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号
Tel. 03-3400-3768（代）　Fax. 03-3499-0613
ホームページ：https://www.neo-dental.com/
フリーダイヤル：0120-07-3768
2020年10月作製
OA2110